

12月議会議案審議

採決結果 町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第62号	条例	和水町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第63号	条例	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	〃
議案第64号	条例	和水町職員の定年等に関する条例の一部改正について	〃
議案第65号	条例	職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	〃
議案第66号	条例	和水町特別会計条例の一部改正について	〃
議案第67号	条例	和水町特定地域生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃
議案第68号	条例	和水町下水道条例の一部改正について	〃
議案第69号	条例	和水町簡易水道条例の一部改正について	〃
議案第70号	条例	和水町簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の制定について	〃
議案第71号	補正予算	令和4年度 和水町一般会計補正予算（第4号）	〃
議案第72号	補正予算	令和4年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第73号	補正予算	令和4年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第74号	補正予算	令和4年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第75号	補正予算	令和4年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第76号	補正予算	令和4年度 和水町下水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第77号	補正予算	令和4年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第78号	補正予算	令和4年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第79号	補正予算	令和4年度 和水町病院事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第80号	その他	熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について	〃
議案第81号	その他	指定管理者の指定について（三加和温泉ふるさと交流センター及び和水町緑彩館）	〃
議案第82号	その他	指定管理者の指定について（和水江田川カヌー・キャンプ場）	〃
議案第83号	その他	町道の路線廃止について	〃
議案第84号	その他	町道の路線認定について	〃
議案第85号	その他	工事請負契約の締結について	〃
議案第86号	条例	和水町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃
議案第87号	条例	和水町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
議案第88号	条例	和水町病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃
議案第89号	条例	和水町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	〃

陳情等の審査結果

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
345	令和4年11月25日	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情	配付	
323	令和4年11月14日	「消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	継続審査	厚生建設経済常任委員会
324	令和4年11月14日	「消費税率5%以下への引き下げを求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	継続審査	厚生建設経済常任委員会

12月定例会 賛否一覧表

議 案		議員名	亀崎	千々岩	木原	荒木	白木	齋木	坂本	竹下	秋丸	笹淵	蒲池	高木
			清貴	繁	泰代	宏太	淳	幸男	敏彦	周三	要一	賢吾	恭一	洋一郎
議案第86号	条例	和水町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	※
議案第87号	条例	和水町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	※

討論	議案第86号	反対：秋丸議員	賛成：亀崎議員	※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。
	議案第87号	反対：笹淵議員	賛成：坂本議員	

令和4年度 一般会計補正予算

一般会計補正予算総額

1億6,024万1千円を追加

総額 88億6,891万9千円に

令和4年12月定例会は12月9日から15日までの7日間の会期で開催され、令和4年度の補正予算などの28議案（条例13件、補正予算9件、その他6件）が上程され、それぞれ可決された。

きくすい荘職員の入居者への虐待と町職員の不適切な事務処理の問題で、町長と教育長の給与を100分の10（1カ月）減額する条例の一部改正も可決された。

12月12日と13日の一般質問では、9名の議員が質問を行った。

一般会計補正予算の主なもの

●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業	68,020千円
エネルギー・食品価格高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援	
①65歳以上の高齢者へ1人1万円の支給	27,574千円
②乗合タクシー利用促進事業（令和5年1月～3月）	501千円
③18歳以下を養育する父母等に児童1人につき1万円支給	13,188千円
④保育所等給食費支援	870千円
⑤観光バス・タクシー・運送業支援	9,300千円
⑥農業用資材価格高騰対策支援	16,587千円
●通学路の安全を確保する道路改良工事	14,000千円
●特別養護老人ホーム事業会計繰出金	47,543千円

特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業会計	35千円	1,325,713千円
介護保険事業会計	6,488千円	1,500,807千円
特別養護老人ホーム事業会計	51,178千円	540,915千円
簡易水道事業会計	497千円	122,169千円
下水道事業会計	1,040千円	124,057千円
特定地域生活排水処理事業	6,143千円	129,021千円
後期高齢者医療事業会計	4,545千円	191,359千円
病院事業会計	13,844千円	629,721千円

総務文教常任委員会

委員長 荒木 宏太

総務文教常任委員会は報告調査、研究活動の一環として、他の団体等で行われている先進的な事例を視察するため、11月17日から18日にかけて、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅（鹿児島県大崎町）へ体育施設、熊本県芦北町役場で地域公共交通の研修をいたしました。

研修報告



ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅（鹿児島県大崎町）

①トップアスリート・陸上強豪大学等の合宿誘致利用状況数

令和元年度41,347人（うち合宿人数13,545人）
令和2年度23,334人（うち合宿人数は3,910人）
令和3年度31,821人（うち合宿人数5,944人）

②県民のスポーツに関する競技力の向上

施設を利用しトップアスリートから直接指導を受けるなどイベントを実施し鹿児島県内の競技力の向上を目指している。

③県民がスポーツに取り組む場の提供

初心者向けの走り方教室やヨガ教室、ジュニアヒップホップ教室、毎週水曜日には初心者講習会を実施している。

④スポーツを通じた地域の活性化

ALL大隅という「宿泊」「食事」「交通」の事業者を会員とする連絡会を開催し、合宿の利用状況や利用者の要望など交流人口拡大を目的とした課題解決に取り組んでいる。



施設

- ・陸上競技場（日本陸連3種公認）・室内競技場・多目的グラウンド・投てき練習場
- ・傾斜走路・砂場走路・付帯施設（管理棟、体育館、トレーニングルーム、周回走路）

芦北町役場

芦北町では「ふれあいツクールバス」という小・中学校の登下校で使用するスクールバスの空き時間を利用してコミュニティーバスを運行する方法で実施しており、一部路線については児童生徒との混乗便で運行している。

民間の路線バスの廃止代替えとして平成22年6月に一路線からスタートし、現在では自家用旅客有償運行として一乗車あたり利用料金200円を徴収して15路線運行している。



使用車両（芦北町保有）

- ・スクールバス19台
 - ・ふれあいツクールバス専用車両4台 計23台
- ※運行業者へ貸与する形で、民間事業者へ運行委託をしている。

運行日

月曜日から土曜日まで

年間乗車人員

令和3年度 23,525人
※予約型乗合タクシーの運行も同時に事業を進められているが区域運行型ということもあり利用者の人数は年々減少傾向にある。

迎春 2023



年頭の挨拶

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆さまには、希望に満ちた初春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。
日頃より町議会に対し、温かいご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。年頭にあたり、町議会を代表して、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
昨年も新型コロナウイルス感染症の流行が続く、「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、大変な一年になりました。この間、最前線でご尽力いただいた医療従事者をはじめ、感染拡大防止にご協力いただいた町民、事業者の皆さまに心から感謝申し上げます。町民の皆さまには、引き続き感染拡大防止の取り組みをお願いいたします。
さて、和木町においては少子・高齢化の急速な進行や過疎化対策だけで



和木町議会議員
高木 洋一郎

はなく、経済の活性化、高齢者や子育て支援などに取り組んでいかなければなりません。町議会は、政策の形成や町民の皆さまのご意見等を通じて、意思決定機関として、また、執行機関の監視機関としてその役割を十分に発揮しなければなりません。町民の皆さまの信頼と期待に応えられるよう全力で取り組むとともに、安全・安心で活力のある和木町の実現に向け、全力を尽くしてまいります。
結びに、この一年が皆さまにとりまして、希望に満ちた幸多き年でありますよう、心からご祈念申し上げます。まして、新年のごあいさつといたします。

今年もよろしく お願い致します

和木町議会議員一同

齊木 幸男	白木 淳	荒木 宏太	木原 泰代	千々岩 繁	亀崎 清貴
高木 洋一郎	蒲池 恭一	笹渕 賢吾	秋丸 要一	竹下 周三	坂本 敏彦



問 全国大会及び国際大会に出場する場合に交付する補助金があるが、過去5年間の補助対象者の人数と補助金額を問う。

答 (町長) 平成29年度から令和3年度の補助対象者は44名、補助金額は45万円。なお、本年度11月末時点で補助対象者18名、補助金額18万円となっている。

問 現在、補助額は1万円だが、子どもたちに期待する、和木町をPRしてもらう意味を込めて補助額を上げることはできないか問う。

答 (町長) 全国大会というのは和木町の大変喜ばしく町として名誉なことである。和木町出身ということ年全国にその名をとどろかせていただくことになるので、金額や財源等について、教育委員会と併せて検討していく必要があると考えている。



問 現在、三加和出身者ならば三加和総合支所に、菊水出身者ならば本庁に懸垂幕が掲げているが、旧町間で分かりにくい状態であり、他の周知方法を考えないか問う。

答 (町長) 結果については広報なごみ等で掲載しているが、申請の時点で本人の承諾を頂けるのであれば、ホームページや公式LINEで周知することも考える。

問 本町の重要な観光拠点地域である三加和温泉郷周辺の活性化策と今後の展望についてどのような考えか。今は空前のキャンプブームである。グランピング事業を手掛ける民間企業を誘致し、三加和温泉への新たな客層の掘り起こしをすることで、隣接する様々な業

問 和木町斎場(旧三加和火葬場)の状況と今後の跡地利用について問う。

答 (町長) 現在アスベスト建材の除去工事を終え令和5年3月15日までを工期に解体工事を進めている。跡地利用については地形的に勾配が急であり、斎場跡地ということ幅広い活用ができる跡地ではないと考える。

問 空き家バンクの推進を図る上で家財道具等を保管する場所を斎場跡地にレンタルコンテナ事業者等を誘致して取組む考えは如何か。

答 (まちづくり推進課長) 町では不要物撤去への補助金という支援をしている。

問 熊本県内では合宿を誘致するのに私が調べる限り9市町村が既に補助金等を実施し、合宿誘致につなげている。町内の社会体育施設への誘致を働き掛けて三加和温泉活性化に寄与できればと思うが如何か。

答 (町長) 指定管理者と新年度の取組について提案内容を踏まえ協議を進めていく。

問 防犯安全対策について高齢者が安心して暮らしていける社会の実現と子どもたちが安心安全に通学できる環境を整えていくためにも防犯カメラの設置はできないか。

答 (町長) 他自治体の状況を確認し前向きに検討したい。



町を担う
子どもたちのためにも
補助額を上げるべき!



旧三加和火葬場の跡地利用は?
三加和温泉に
グランピング施設誘致を!
安心して暮らせるために
「防犯カメラ」を!

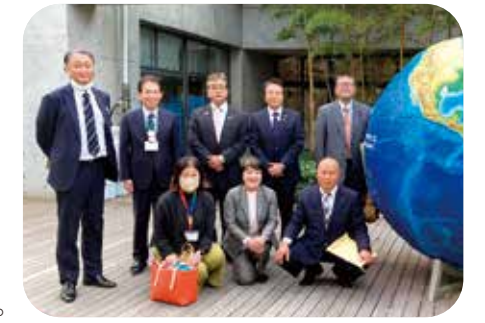
厚生建設経済常任委員会

研修報告

委員長 竹下 周三

委員会の調査研究活動の一環、先進的事例の視察として、11月24日(木)～25日(金)の両日、かごしま環境未来館、道の駅たるみず「はまびら」等の研修を実施致しました。

今回は新たな議会(委員会)の体制として初めての研修となり、委員間の親睦と行政課長との連携も十分図られました。今回の研修を機に厚生建設常任委員会として一致団結して職責を果たしていきます。



かごしま環境未来館

鹿児島市の環境学習、環境保全活動の拠点施設。市民、事業者が環境について関心や理解を深め、日常生活や事業活動において自発的に環境保全活動を実施するとともに、その活動の輪を広げていくことを促進する為に、様々な事業を行っている所でした。

施設

- 1階… 展示学習ゾーン、ミライテラス、多目的スペース、活動支援室
- 2階… 多目的スペース、研修室

建物の理念

- ①緑の大地「緑の創出」。地域温暖化やヒートアイランド現象対策に貢献する
- ②多くの人に親しまれる施設
- ③屋根上を前面緑化し、緑に溶け込み建物を主張しない

地球の限界 0203

私たち人間は、地球の資源を使って生きています。しかし、地球が資源を生産・再生できる量は変わりません。人間の消費量が地球の生産量をはるかに超えた今、地球環境はどんどん悪化しています。

開発行為と生物

世界各地で森林や海洋が開発されています。そこにいた生き物たちは逃げ出すしかありません。逃げ場のない生き物は死んでしまいます。開発をするほど、生き物の数が減っているのが現状です。

展示の構成(4つのゾーンに分かれている)

- ①「奇跡の星、地球」
- ②「球はすでに限界を超えている」
- ③「私たちができる事」
- ④「未来のために行動しよう」

事業費及び財源

事業費：約43億6千万円

- ・国庫補助(まちづくり交付金)……………39.5%
- ・起債(合併特例債)……………56.0%
- ・一般財源……………4.5%

国土交通省エリア

授乳室、防災倉庫、情報提供室、防災トイレ、駐車場、発電機

垂水エリア

マルシェ会場、子ども広場、レストラン、マリナーパーク

民間エリア

ブランド豚肉専門店、海鮮物専門店、コンビニ



道の駅たるみず「はまびら」

研修当日は議会定例会開催中であり、垂水市役所水産商工観光課 大迫 均主幹兼商工業推進係長と(株)垂水未来創造商社 角野 毅統括部長兼駅長に施設の紹介をして頂きました。当施設は、垂水市の垂水フェリー発着所から5分の位置にあり、広大な用地の中に道の駅本体施設、児童広場、民間エリア、駐車場、国土交通省エリア、マリナーパークエリア等が有り、マリOTTホテル建設地がある。又、防災道の駅に選定されている。2018年11月開駅して2020年4月には、100万人の来場者を達成、2021年11月には200万人を達成しておりますが、コロナウイルス感染症の問題もあり、近年は苦慮しているものの、年間交流人口を200万人へと目指しておられます。



町長公約について

問 3世代が集える公園の整備の進捗状況を問う。

答 (町長) 道の駅きくすい周辺及び三加和温泉周辺での整備を考えている。来年度中には計画を具体化し議会へ示す予定。令和6年度に設置できればと考えている。

問 和水町まち・ひと・しごと創生総合戦略で「商業施設の誘致を図る」との記載があるが、具体的にどこに誘致を計画しているか。

答 (まちづくり推進課長) 具体的な場所については、まだ示せる段階ではないので今後、精査しながらお示しできる時は進めていきたい。

答 (町長) インターチェンジ等があるので、「商業施設等の誘致を図ります」という目標を掲げている。これについてはまだ取り組んでいない状況なので担当課と「まち・ひと・しごと」の内容を踏まえながら検討を始める。

問 和水町におけるスポーツ推進

計画はあるのか問う。

答 (教育長) 地域スポーツ基本計画については策定していない。

問 金栗先生という存在もあり、中学生の部活の地域移行も始まる和水町にとって、スポーツ推進計画を迅速に計画策定していただけるのかどうか問う。

答 (教育長) 国の第3期スポーツ基本計画が策定されている。その解釈を確認しながら町がどのように進めていくか検討していく。

問 新規で起業する方に対して支援策は今後考えているか。

答 (町長) 他の団体において企業支援補助金を創設して、起業される方へ助成をされていることは存じている。メリット、デメリットなどを調査して、町に有益であれば当然取り組んでいく。

問 町民との座談会はいつ開催するのか。

答 (町長) 令和5年度から随時実施していく。



多額の維持管理費が 財政圧迫の要因になる 懸念あり！

きくすい荘の 建て替えについて

問 きくすい荘は当初の計画を変更して民有地を購入し、85名収容体制で建て替えるとの説明であったが、物価上昇を考えると約20億は必要だということであった。ひとつ懸念している点がある。昨年3月に運営計画案が提示された建設後の収益的収支計画は毎年1、400万円の赤字になるので、毎

るわけで当初の収支計画の7倍である。ちよつと話が違うのではないか。果たしてこの金額を払い続けるとなれば、町の財政はもつか。

答 (町長) 今回、財政計画を新たに引きなおしたところ、人件費の圧縮は難しいということで運営に当たっては赤字をなるべく減らす取り組みを考えているけれども、ご指摘の通り赤字となっている。

年の赤字補填額が1、000万円程度の税金投入で済むという説明であった。この計画提示を受けて当時の議会は、賛成した面があると思う。今回の計画案は全く違うものであった。それは完成後も赤字補填額が毎年7、000万の税金を投入しなければならないということである。今の2倍ぐらいい

この他、左記の件について質問した。

① 中学の部活動の民間移行について

② きくすい荘職員の不祥事について

③ ふるさと納税寄付金の運営状況と今後の方針について



和水町の歯科口腔保健の 現状と課題 不登校となつている児童生徒の 居場所と支援について

問 幼児期と学齢期のむし歯の状況・取組をどう評価しているか。

答 (町長) 令和2年度の1歳6カ月児のむし歯有病率は2・04%でむし歯有病率全国ワースト1位の熊本県を上回った。3歳児、12歳児のむし歯有病率は減少傾向で、県下でもむし歯有病率は少ない状況。歯科健診・保健指導とフッ化物活用事業の成果と考える。

答 (教育長) 学校でも歯科保健に積極的に取り組んでおり12歳児のむし歯有病率は熊本県と比較して良いが、歯並び、かみ合わせや歯肉炎等の課題がある。

問 課題にどう取り組んでいくか。

答 (保健・子ども課長・教育長) 歯科保健事業の更なる充実を図る。

問 フッ化物洗口事業は安全に行われているか。

答 (保健・子ども課長・教育長) 保

育園・幼稚園では毎日法、学校では週1回法で、マニュアルにそって実施し心配する事案はない。

問 不登校児童生徒の人数と支援の内容は。

答 (教育長) 令和3年度は12人。各学校総体で取り組んでいる。今年度からは不登校対策の学習支援員を2名配置し支援している。

問 不登校児童生徒の居場所は。

答 (教育長) 主に家庭。今年度の支援を評価・検証し、居場所についても支援・検討していく。

問 家族への支援の状況は。

答 (教育長) 保護者がスクールカウンセラー・ソーシャルワーカーに相談できる体制や学校内外と連携し支援をしている。

答 (福祉課長) 不登校児の保護者をつなぐ茶話会を年4回開催し支援をしている。



不祥事防止と 役場改革について

問 不祥事を受け、今後の防止策について問う。

答 (町長) 職員一人ひとりが、心構えをしつかり持つ必要がある。公務員としての自覚を持ち、法令遵守、服務規律の徹底、再発防止研修を行い信頼される組織作りに向けて指導していきたい。

問 コンプライアンス作成は出来ているか問う。

答 (総務課長) 今後作成していきたい。

問 胸章を付けておられるが導入された経緯と全職員付けているか問う。

答 (町長) 現在課長職以上に配布している。和水町の職員としての自覚を持って行動するため。また職員の団結力、連帯感を高めるために作成した。来年度全職員配布

に向けて検討したい。

問 三加和総合支所を三加和支所にするについて問う。

答 (町長) 現在は分庁方式による組織運営になっているが、今後は総合支所というより住民サービスをさらに向上させる地域振興課等を設置したい。

問 まちづくり総合基本計画で特に力を入れていかなければならないことは何か問う。

答 (町長) 子育て支援を強化していきたい。産み育てやすい町を目標にしたい。

問 和水町に移住し子育てしようとして認識させるには何が大事か問う。

答 (町長) 人口減少対策として子育て支援、就職等の問題、生活、仕事等、一体的なプランとして計画したい。



戦後最大の 農業の危機だ!!

問 戦後最大の農業者の危機、農業の危機だ! 燃油高騰をはじめ資材費・肥料等の高騰、米の価格の低迷、町の基幹産業である農業の危機だと思う。そこで、作付交付金を導入して頂きたいと思うが伺う。

答 (町長) 安定した農業経営の支援として、町は取り組んでいく必要がある。内容等を精査、調査した上で、来年度の事業として考えていく必要があると思う。

問 国が取り組んでいる所得補償制度の収入保険に町として補助していくべきだと考えるが伺う。

答 (農林振興課長) 収入保険は、自然災害による収量減少に加え、価格低下も含めた収入減少を補填するとなっており、今後の農業にとって必要不可欠な制度と認識している。掛金に対する支援と思うが、近隣市町等で玉東町・南関町が支援しており、町のほうも前向

きに検討する。

答 (町長) 安定した農業経営のための支援ということで、今回のようなコロナ禍における短期的な支援、また中期・長期的な支援、総合的に考えて農業者の皆様の支援を進めていく。

問 「もつと元気で活力ある町」にするため、まちづくりの7つの政策を掲げられ町長に当選された。就任2年目に向けて、来年度取り組む事業を伺う。

答 (町長) 子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、また移住・定住者に向けて魅力あるまちづくりを進めるため、小中学校の給食費の完全無償化、保育園児の副食費の無償化、コンビニ納付証明書の発行事業、座談会の開催、行政区担当職員制度、公園整備事業等有利な補助金等を活用しながら取り組む。



春富校区バス路線廃止への対応は? 米価暴落から町農業を守るため 価格保障を 教員不足解決のため 教職員の労働改善を

問 昨年10月に春富校区バス路線が廃止され6月議会で公共交通問題をとり上げ提案したがその後町の方針は。

答 (町長) 乗り合いタクシー「あいのりくん」を南関町まで乗り入れることができるよう南関町と協議を重ねて「いきいき村」を拠点として乗り入れることになり令和5年度より事業展開する。また、1月から3月までの3カ月間は乗車に伴う負担を無料とする。住民アンケートの集計結果を考慮した上でコミュニティバスの必要性、乗り合いタクシーとの接続等の方向性を定めている。

問 今年の米は約1俵11,000円、農水省の米1俵当り必要な価格は15,000円、肥料代や農薬代は1万円ぐらいなので人件費は1俵当り1,000円しかない。1俵当り15,000円保障することを国がやるべきで、やら

なければ町が支援しないと米作りは続けられない。その一方でミニマムアクセス米を年間77万トン輸入している。農家からすれば考えられないこと。ぜひやめさせたい。町長から国や県に伝えていただきたい。

答 (町長) 地域の実情を国、県に伝えて米価の見直しや国の補助をいただけるよう働きかけをしていきたい。

問 町内教員不足は小学校3名、中学校1名。これは1日平均12時間労働、土・日も部活で出勤等忙しいため教員希望者が減り教員不足が起きているという悪循環になっている。国に対し労働条件を改善し働きやすい環境をつくるよう求めていただきたい。

答 (町長) 県の教育委員会と話しをする機会があれば町の実情等について話していきたい。



防災行政無線の活用について スクールバスの運用は 学校給食費の全額無償化は 蜻浦林道の町道認定と舗装予定は

問 防災無線の使い方の周知方法を問う。

答 (総務課長) ホームページや広報紙等で周知に努める。

問 防災無線をLINE等で同時にお知らせすれば便利になるのでは。

答 (町長) 同時にお知らせできるシステムとはなっていない。

問 スクールバスの令和6年度以降の運行は。

答 (町長) 基本的に令和7年度まで現在の運用を想定している。

問 学校給食費の無償化の考えは。

答 (町長) 令和5年度以降については全額無償化に取り組みたい。

問 ふるさと納税で子育て基金をつくり学校給食費を支援しては。

答 (町長) ふるさと納税を活用してこちらを財源にして事業展開をはかしていきたい。

問 江田高野線開通後の県道和田仁菊水線七曲りの拡幅改良工事は。

答 (町長) 今後も議会、近隣市町村と一緒に県に要望する。

問 江田高野線開通後の用木区接続場所と牧野下の交通安全対策は。

答 (建設課長) 完成までには白線の引き直しを行いたい。

問 蜻浦林道の町道化は。

答 (町長) 認定の要件に難しい。今後も林道事業として整備予定。

問 蜻浦林道の崖崩れやコンクリート舗装の破損などの対応は。

答 (農林振興課長) 年間維持工事の予算範囲内で順次対応。

問 蜻浦林道・作業道は蜻浦区から日平区そして高葉山のテレビ塔までつなぐ計画だったのでは。

答 (農林振興課長) 今後の日平地区森林整備でその作業道とつながる集材路として整備を考えている。

問 蜻浦林道を玉東町まで開通させて山林を有効活用しては。

答 (町長) 費用対効果が厳しい。

令和4年度 市町村議会議員特別セミナー②に参加しました

市町村議会議員特別セミナーが、11月1日(火)～2日(水)で千葉市の市町村アカデミーで開催されました。全国の自治体から95名の参加があり、和水町からは、新人議員3名(木原泰代、亀崎清貴、千々岩繁)が参加させていただきました。アカデミーでは、初日の午後から2講義、2日目の午前中2講義が行われました。

【演題1】自治体議会のズレ、その分析と補正
元衆議院法制局参事 吉田 利宏 氏

【演題2】あるものを使い切る
あるものから新しい価値を作り出す
銘建工業株式会社代表取締役 中島浩一郎 氏

【演題3】コロナ後の日本のまちづくり
日本総合研究所調査部主席研究員 藻谷 浩介 氏

【演題4】地域再生の失敗学 ～地域経済の現状と課題～
明治大学政治経済学部教授 飯田 泰之 氏



著名な講師の先生方で、とても参考になりました。本来、1日目の夜は情報、意見交換会が開催される予定だったのですが、新型コロナウイルス感染症対策として中止となりました。しかし、講義の休憩中には他県や熊本県内の議員と少しながら意見交換をさせていただきました。